

熊本支部からの報告

SCPA-Japan 熊本県支部と
脳卒中・心臓病等総合支援センター事業の
部会活動について

済生会熊本病院 脳卒中センター 特別顧問

SCPA-Japan 熊本県支部 事務局長

橋本洋一郎

既存の活動・組織がある中で

脳卒中・心臓病等総合支援センターの活動の中で

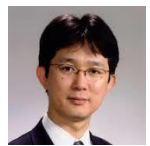
SCPA-Japan 熊本県支部が

如何に活躍できるかを模索中

日本脳卒中医療ケア従事者連合 監事
日本脳卒中医療ケア従事者連合 熊本県支部 事務局
橋本洋一郎(個人的見解)

脳血管疾患の障害を考える会(K-STREAM)

1994年世話人会



神経内科



熊本市民病院
済生会熊本病院
熊本大学病院



急性期病院

電話1本1週間

脳神経外科

熊本赤十字病院
熊本託麻台病院
熊本大学病院



脳血管疾患
の障害を
考える会

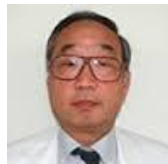
発症から3週間でバトンタッチ

1995年

リハビリ科



熊本リハ病院
熊本大学病院
熊本機能病院



リハ専門病院

リハビリ科

熊本託麻台病院
熊本回生会病院



保健センター等

老人保健施設・
福祉施設

家庭・患者

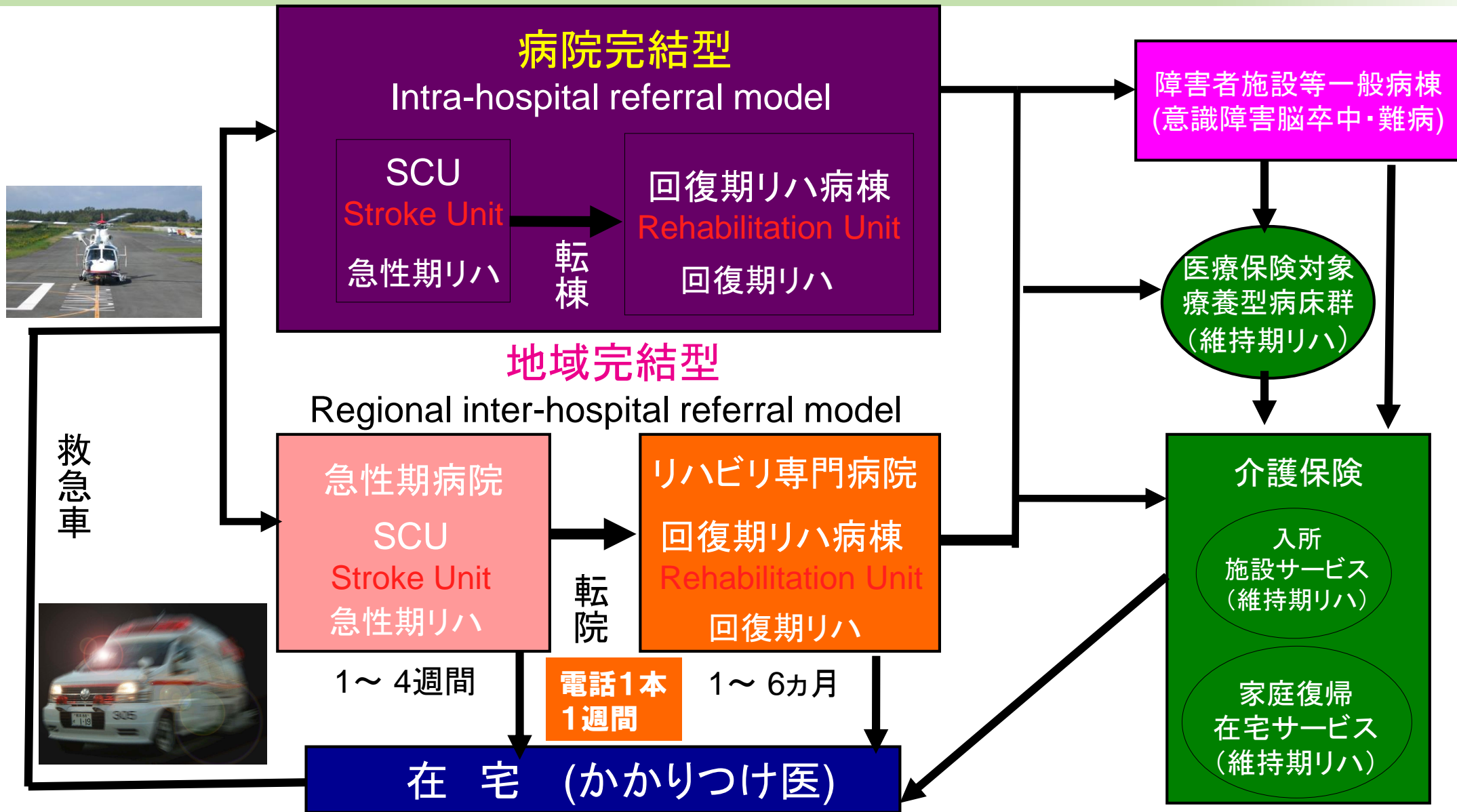
患者・家族の
満足度向上

かかりつけ医

医療従事者の
満足度向上

脳卒中診療のながれ(2000年)

2000年 介護保険
回復期リハビリテーション病棟





熊本脳卒中ネットワーク

2007年より
地域連携パス運用
(オプションパス)

熊本脳卒中地域連携ネットワーク
(K-STREAM) 2007

脳血管疾患の障害を考える会1995

回復・維持期リハを考える会2003

熊本県回復期リハビリテーション病棟研究会 2011



K-EARTH2017

急性期病院

熊本大学附属病院
国立病院機構
熊本医療センター
熊本市市民病院
済生会熊本病院
熊本赤十字病院

転院

リハビリ病院*



熊本機能病院	桜十字病院
熊本リハビリテーション病院	菊南病院
熊本託麻台病院	九州記念病院
熊本回生会病院	竜山内科リハビリテーション病院
にしくもと病院	熊本セントラル病院
西日本病院	宇賀岳病院
武蔵ヶ丘病院	済生会三角病院
江南病院	御幸病院
青磁野リハビリテーション病院	さくら病院
くまもと成仁病院	東熊本病院
聖ヶ塔病院	東熊本第二病院
東野病院	朝日野総合病院
メディカルケアセンターファイン	城南病院
西村病院	鶴田病院
温石病院	あきた病院
	ほか

転院



療養病床を有する
病院・診療所

退院

退院

介護施設



退所

退院

退院

在宅(かかりつけ医)

各病院の
病診連携の会

疾病の発症

退院



火の国脳卒中
カンファレンス
1995

熊本市公的
病院等地域
連携協議会
(G8) 2011

断らない医療の提供

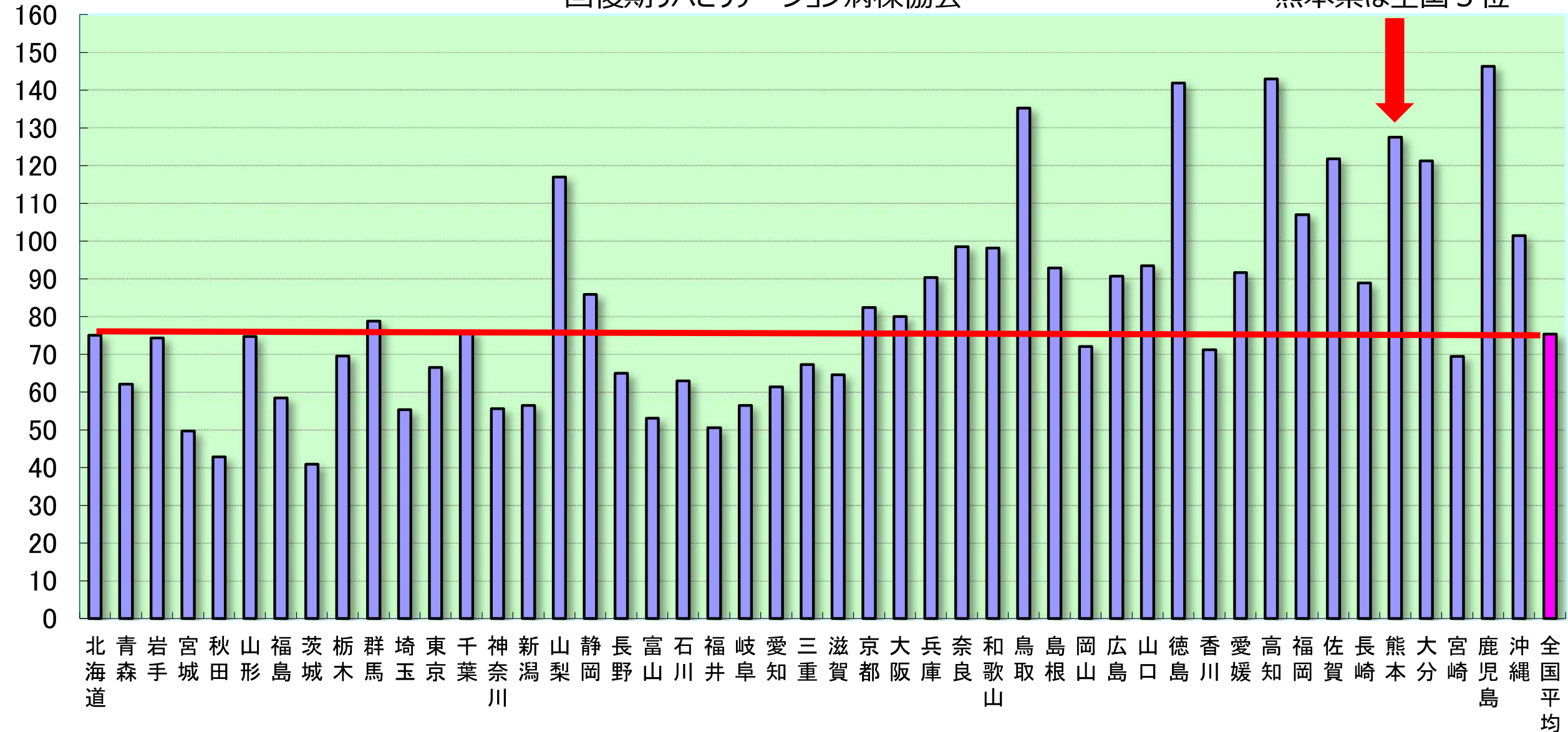
熊本在宅ドクターネット2008

都道府県別回復期リハビリテーション病床数：対 10万人

2024年3月1日現在

回復期リハビリテーション病棟協会

熊本県は全国 5 位



脳卒中地域連携パス：治療の継続とリハビリの継続

橋本洋一郎, 他：脳卒中.2014,36:99-104

地域連携パス作成のポイント

- 1 すべての患者さんが十分にリハビリを受けられる（切り捨てをしない）
- 2 どの地域でも使えるシンプルな地域連携パス
- 3 地域で1種類の地域連携パス
- 4 ゴール設定は在宅医療を十分に考慮する
- 5 個々の施設の院内パスを包括し、現在の院内パスをそのまま利用できる

熊本では2007年から運用開始

<保険収載>

2006年大腿骨頸部骨折地域連携パス

2008年脳卒中地域連携パス



2007年4月9日



脳卒中地域連携パス(K-STREAM)

mRS : modified Rankin Scale
FIM : Functional Independence Measure
BI : Barthel Index



診療情報の共有、治療の継続 (再発予防、併存疾患の管理)

《脳卒中地域連携パス》(患者様用) : 様 (脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)

急性期病院	回復期リハビリ病院	維持期小病院・施設
現在の障害を説明します <input type="checkbox"/> 運動の障害 <input type="checkbox"/> 言葉の障害 <input type="checkbox"/> 食べることの障害 <input type="checkbox"/> 排泄の障害 <input type="checkbox"/> 認知の障害 <input type="checkbox"/> 意識の障害 <input type="checkbox"/> その他	3つのリハコースを説明します 軽度障害リハコース (1ヶ月) BI 85-100, FIM110-126 標準リハコース (2ヶ月) BI 55-80, FIM80-109 重度障害リハコース (3ヶ月) BI 0-50, FIM10-79	ケアが必要なことを説明します 療養型病床・介護老人保健施設 2-3ヶ月ごとにケアプランを2つの方針を相談します 標準ケアコース (BI 25以上) 軽度障害コース (1-2ヶ月) (mRS Ⅱ-Ⅲ, 歩行自立) 標準コース (2-3ヶ月) (mRS Ⅳ, 起床・歩行・座位自立) 重度障害コース (3-6ヶ月) (mRS V, 座位不可) 意欲障害 (+, -) 高次脳機能障害 (失語症など) (+, -) 排泄障害 (+, -) 排泄訓練 導尿形式 (持続・間歇)
リハビリが必要であることを説明します 以上の障害でリハビリが必要ですが、詳しい評価はリハビリ院で行われます。現在の移動能力で以下の3つのコースでリハビリがスムーズに思われます。	詳しいリハ評価 バールセル指数 (BI) FIM指数 (FIM) いずれかの評価でコースが決まります	在宅 かかりつけ医の選択 生活習慣の指導 グループホーム ケアハウス 介護老人福祉施設
軽度障害リハコース (1ヶ月) ひとりで歩ける	介護保険の説明 要介護1, 2 要介護1, 2, 3, 4, 5	訪問診療・訪問リハ
標準リハコース (2ヶ月) ひとりで寝れる	介護保険の申請 ケアマネジャ決定 介護指導	通所リハ・訪問看護
重度障害リハコース (3ヶ月) ひとりで立てる	認定調査 ケアプラン作成 サービス担当者会議	在宅介護
治療の継続、管理、再発予防目標 <input type="checkbox"/> 血圧コントロール (LDL < 140) <input type="checkbox"/> ワーファリン (PT-INR) 70未満 2.0-3.0 70以上 1.5-2.6 <input type="checkbox"/> 脂質異常症 (LDL-cholesterol < 120mg/dl HDL-cholesterol ≥ 40mg/dl TG < 150mg/dl) <input type="checkbox"/> 血糖 <input type="checkbox"/> 腎臓 <input type="checkbox"/> インスリンコントロール <input type="checkbox"/> 栄養管理 <input type="checkbox"/> ショート注 <input type="checkbox"/> 抗血小板剤	在宅医療 (かかりつけ医) 転院入所調整 在宅介護	※ 経過中に急変した時は急性期病院へ連絡します

《脳卒中地域連携パス》(2008.04.01) 【氏名 年令 性別】 【第 回目 入院】 病院 (+, -)

急性期	回復期リハ	維持期リハ	6-12 M
急性期 (経過) (パス) <input type="checkbox"/> 脳出血 <input type="checkbox"/> くも膜下出血 <input type="checkbox"/> 基礎疾患 入院時リハ評価 リハコース選択・説明 (A, B, C) mRS () 軽度障害コース (1-2ヶ月) (mRS Ⅱ-Ⅲ, 歩行自立) 標準コース (2-3ヶ月) (mRS Ⅳ, 起床・歩行・座位自立) 重度障害コース (3-6ヶ月) (mRS V, 座位不可) 意欲障害 (+, -) 高次脳機能障害 (失語症など) (+, -) 排泄障害 (+, -) 排泄訓練 導尿形式 (持続・間歇) 清拭・入浴形式 (自立・介助) 栄養 (経口・経管, 経口+経管) MRSA (+, -) (治療の継続) <input type="checkbox"/> PT-INR目標値 <input type="checkbox"/> PT-INR (3未満 (2.0-3.0) 3未満以上 (1.6-2.6)) <input type="checkbox"/> 抗血小板薬 (+, -) <input type="checkbox"/> 糖尿病管理 (+, -) <input type="checkbox"/> 脂質異常症 (+, -) <input type="checkbox"/> 腎臓管理 (+, -) <input type="checkbox"/> 喫煙 (+, -) <input type="checkbox"/> 水頭管理 (+, -) <input type="checkbox"/> アルコール <input type="checkbox"/> 合併症 (+, -) <input type="checkbox"/> 弾性ストッキング着用 (+, -) <input type="checkbox"/> 気管切開 (+, -) <input type="checkbox"/> 褥瘡管理 (+, -) <input type="checkbox"/> 褥瘡管理 (+, -) <input type="checkbox"/> 在宅医療 (有・無) <input type="checkbox"/> 転院依頼日 ()	回復期リハ 回復期(5日以内) 回復期クリニカルパス リハコース選択・説明 (A, B, C) 入院時リハ評価 リハコース選択・説明 (A, B, C) FIM () FIM () 軽度障害コース (1-2ヶ月) (mRS Ⅱ-Ⅲ, 歩行自立) 標準コース (2-3ヶ月) (mRS Ⅳ, 起床・歩行・座位自立) 重度障害コース (3-6ヶ月) (mRS V, 座位不可) 意欲障害 (+, -) 高次脳機能障害 (失語症など) (+, -) 排泄障害 (+, -) 排泄訓練 導尿形式 (持続・間歇) 入浴形式 () 栄養 (経口・経管, 経口+経管) MRSA (+, -) PT-INR () PT-INR () PT-INR () PT-INR () 抗血小板薬 (+, -) 糖尿病管理 (+, -) 脂質異常症 (+, -) 腎臓管理 (+, -) 喫煙 (+, -) ショート注 () ショート注 () 合併症の治療指示 弾性ストッキング着用 時期指示 () 気管切開管理指示 () 褥瘡管理指示 () 在宅医療の継続 () 介護保険の申請 ()	維持期リハ リハコース選択・説明 (A, B, C) リハ評価 リハコース選択・説明 (A, B, C) FIM () FIM () ケアコース選択・説明 (a, b) ケアコース選択・説明 (a, b) ケアカンファレンス BI () FIM () 日常生活指標 () mRS () 通院リハ 在宅介護サービス a 標準ケアコース (BI 25以上) b 重症ケアコース (BI 0-20)	維持期クリニカルパス ケアコース選択・説明 (a, b) ケアカンファレンス BI () FIM () 日常生活指標 () mRS () 通院リハ 在宅介護サービス a 標準ケアコース (BI 25以上) b 重症ケアコース (BI 0-20)
(在宅準備) <input type="checkbox"/> 急性期 <input type="checkbox"/> 急性期治療が終了していること <input type="checkbox"/> 急性期治療が安定していること <input type="checkbox"/> 転院	(回復期) <input type="checkbox"/> 回復期 <input type="checkbox"/> ADLが在宅可能であり在宅への準備が出来ていること <input type="checkbox"/> 回復期リハの効果が見られること	(維持期) <input type="checkbox"/> 維持期 <input type="checkbox"/> 在宅への準備が出来ていること <input type="checkbox"/> 維持期リハの効果が見られること	

リハの継続

治療の継続

地域完結型の治療とリハビリテーションを考える会

統括代表世話人：橋本洋一郎・山鹿真紀夫

コロナ禍で
研究会はWEBで開催
部会活動はデータ部会のみ継続

脳血管疾患の 障害を考える会

(急性期と回復期の連携)

代表世話人：渡辺 進
年1回 (1995年)

K-S T R E A M

(脳卒中地域連携パス)

代表世話人：平田好文
年1回 (2007年)

回復・維持期 リハを考える会

(脳卒中・整形外科疾患・
神経難病・廃用症候群)

代表世話人：古閑博明
年2回 (2003年)

- ①薬剤師部会 ②食リハケア部会 ③看護師部会
④PT・OT部会 ⑤ケアマネ部会 ⑥データ部会

組織・部会の強化。3年ごとの組織見直し。1年間の目標。世代交代。

熊本在宅ドクターネット・行政・医師会・各施設と連携



『日本脳卒中医療ケア従事者連合』

2021年12月21日設立
(一般社団法人)

熊本県支部 2023年8月1日設立

<参加団体>

- 一般社団法人 日本脳卒中学会 医師
- 公益社団法人 日本脳卒中協会 医師・市民(患者)・多職種
- 日本脳神経看護研究学会 看護師
- 日本ニューロサイエンス看護学会 看護師
- 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会MSW 介護支援専門員(ケアマネジャー)
- 一般社団法人日本介護支援専門員協会
- 一般社団法人日本作業療法士協会 作業療法士
- 公益社団法人日本理学療法士協会 理学療法士(職能)
- 一般社団法人日本神経理学療法学会 理学療法士(学術)
- 一般社団法人日本言語聴覚士協会 言語聴覚士
- 公益社団法人日本薬剤師会 薬剤師
- 一般社団法人日本病院薬剤師会 薬剤師
- 公益社団法人日本栄養士会 管理栄養士

SCPA Japan 熊本県支部 (5番目の支部)

- 中島 誠 : 支部長 (熊本大学脳神経内科 脳卒中寄付講座教授)
- 賀来 泰之 : 副支部長(熊本大学脳神経外科 助教)
- 橋本洋一郎 : 事務局 (済生会熊本病院 脳卒中センター 特別顧問)
- 武笠 晃丈 : 顧問 (熊本大学脳神経外科教授)
- 和田 邦泰 : 日本脳卒中協会(熊本市市民病院脳神経内科部長・リハビリテーション科部長)
- 飯山 有紀 : 日本脳神経看護研究学会(理事、九州地方部会長) (日本ニューロサイエンス看護学会)
熊本保健科学大学 キャリア教育研修センター 認定看護師教育課程/特定行為研修課程 老人看護専門看護師
- 吉村 敬史 : 熊本県医療ソーシャルワーカー協会(青磁野リハビリテーション病院 総合連携室)
→宮嶋あかね(代理参加)
- 清田 直美 : 熊本県介護支援専門員協会
- 今田 吉彦 : 熊本県作業療法士会理事(熊本機能病院)
- 岡本 彬 : 熊本県理学療法士協会(専門領域部 中枢神経班 班長) (にしくまもと病院)
- 池寄 寛人 : 日本言語聴覚士協会 (保健科学部リハビリテーション学科言語聴覚学専攻)
- 藤井憲一郎 : 熊本県薬剤師会(副会長)(熊本総合病院)
- 山室 路子 : 日本病院薬剤師会(熊本市市民病院 薬剤部長)
- 嶋津 さゆり : 熊本県栄養士会(熊本リハビリテーション病院 栄養科長)



SCPA Japan 熊本県支部 第1回WEB会議

日時：2023年8月1日(火) 20時—21時 場所：完全WEB

1. 挨拶 熊本県支部長 中島 誠 先生
2. 日本脳卒中医療ケア従事者連合について (スライド供覧)
熊本県支部 事務局 橋本洋一郎 (日本脳卒中医療ケア従事者連合監事)
3. 自己紹介
4. 今後の活動
 - ①脳卒中相談窓口
 - ②両立支援(就労支援)
 - ③意思決定支援
 - ④各団体の行事案内
 - ⑤メールアドレスのメンバー内共有

* 熊本県脳卒中・心臓病等総合支援センターとの連携
5. その他
6. 挨拶 熊本県支部 副支部長 賀来泰之 先生



飯山有紀



Kuniyasu Wada



橋本洋一郎



賀来 泰之 (熊本大学)



熊本市民 薬割部



Ken Fujii



宮嶋あかね



岡本彬



今田吉彦



池崎真人



武笠晃文



嶋津小百合



KCMA 〇打合せ用



中島誠



SCPA Japan 熊本県支部の活動

1. 講演会・セミナーの情報共有
2. 両立支援調査2023(宮本班)：調査期間2023年10月～2024年3月
→MSWの熊本県のネットワーク構築(総合支援センターがハブ)
3. 両立支援調査2024(宮本班)：調査期間2024年10月～2025年3月
→PT・OT・STの熊本県のネットワーク構築(OT協会がハブ)
4. 意思決定支援実態調査2024(宮本班)：調査期間2025年1～3月
→脳卒中看護のネットワーク構築(総合支援センターがハブ?)
脳卒中看護認定看護師さん＋熊本県看護協会？(今後の検討)
5. 脳卒中サロンプロジェクト(日本脳卒中協会)：済生会熊本病院＋にしくまもと病院
→将来的には総合支援センターのmatterとして熊本県全域への展開
(日本脳卒中協会でマニュアル作成中→12月1日に都道府県支部にpdf配布)

熊本県 脳卒中・心臓病等総合支援センター

2022年開設

地域包括ケアシステム



KMNの普及による
情報提供推進

熊本県



循環器病対策推進協議会

熊本大学病院

MSW

医師

薬剤師

看護師

脳卒中・心臓病等
総合支援センター

リハビリ
スタッフ

管理栄養士

相談窓口

臨床心理士

連携

患者・家族



患者を取り巻く地域

患者会

職場

学校

介護者等

相談
支援
連携
情報共有

連携
情報提供
学習会



急性期医療機関



リハビリテーション施設



地域医療機関
かかりつけ医



センター長
辻田賢一先生

いのちを「守る」、みんなで「支える」
オールくまもとで!

くまもと県
脳卒中ノート

改訂第2版



くまもと県
心臓病ノート



2023年3月

熊本県 脳卒中・心臓病等総合支援センター ロゴ



1. ロゴについて

脳卒中・心臓病相談窓口 設置

「“オール熊本”の皆さまの幸せが続くように」という思いを込めた四つ葉のクローバーを、心臓のモチーフのハートを赤と黄2枚の葉に、脳を緑1枚の葉で表現し、それらを組み合わせて熊本の「K」として表現しました。

2. RELIEF-SHARE Kumamoto (リリーフ・シェア・くまもと)

= 安心の共有 (reliefには「不安からの解放」のほか、救援や交替要因という意味もあるため、家族支援のニュアンスにもとれます)

Rebuilding LIfe aFter Stroke and HeARt DisEase Support Center Kumamoto

直訳：脳卒中・心臓病後の生活（人生）再建支援センター

※補足説明：略号として生活再建という言葉が入っており、総合支援センターの主旨に合っているように思います。

リリーフには「解放」と「救援」（野球のリリーフと同じ）という2つの意味を込めています。

2023年度

熊本県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業

- 「熊本県脳卒中・心臓病等総合支援センター」（以下、「センター」という。）を設置し、医療機関の循環器病に係る診療及び患者支援機能の向上を図ることで、2040年を見据え県民の健康寿命延伸を図り、「県民が循環器病を予防し、たとえ発症しても安心して暮らせる熊本」を目指す。
- センターは県民を対象とした相談支援を行うほか、医療機関の連携協力体制の構築のため、新たに設置する「総合支援推進協議会」（仮称）の事務局として主体的に運営を行い、脳卒中・心臓病等の循環器病対策を推進する中心的な役割を担う。
- 協議会の下部組織として専門部会を設置し、専門部会を中心に予防啓発や社会資源に係る情報提供、県内医療機関を対象とした研修会の開催や相談支援に係る資材作成等を行うなど、県内各地域の中核となる急性期・回復期医療機関の脳卒中・心臓病等に係る診療及び患者支援機能の向上に向けた推進体制を構築する。

<事業概要>

○事業内容

①地域の医療機関等との連携推進の取組

（1）相談支援窓口の設置・運営（地域医療機関の支援）（2）総合支援推進協議会・各専門部会の会議開催

②各専門部会の活動推進

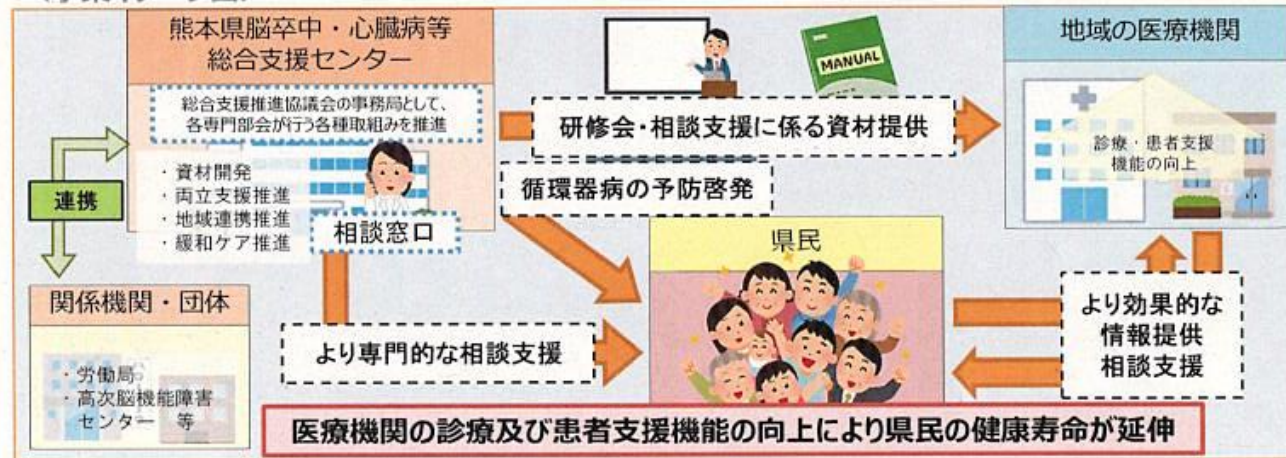
<専門部会の活動例>

- ・住民を対象とした循環器病に関する予防も含めた情報提供、普及啓発
- ・医療機関を対象とした疾患や相談支援・情報提供に係る勉強会等の開催
- ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供・治療と仕事の両立支援、就労・就学支援推進等
- ・地域連携クリティカルパス等による地域連携の推進・既存組織との連携や循環器病に係る緩和ケアの推進

○**人員体制**： 事業推進員（専門職）常勤1名、事業推進員（事務補佐員）常勤1名

○**事業主体**： 県 ※県から熊本大学病院への業務委託 ○**事業期間**： 令和5年度～

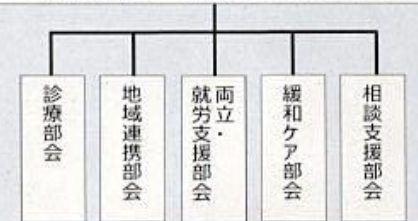
<事業イメージ図>



<協議会と地域の医療機関との連携体制>

センターは、循環器病患者の総合支援を推進する協議会の事務局を担い、各専門部会の活動を推進する。専門部会は県内の医療機関関係者、支援団体等で構成し、効果的な循環器病対策を検討、実施する。

熊本県脳卒中・心臓病等総合支援推進協議会
（熊本県脳卒中・心臓病等総合支援センター）



※協議会及び各専門部会の名称は仮称



協議会・専門部会の成果を県内医療機関に提供することにより、医療機関の診療及び患者支援機能が向上

熊本県脳卒中・心臓病等総合支援センター

診療部会

地域連携部会

両立・就労支援部会

緩和ケア部会

相談支援部会

災害対策部会

■ 一貫性を持った医療・リハビリテーションに関する連携

- ① 地域連携パスの統一化、標準化
心不全リハ連携パス
 - ② 地域連携の会の開催
- ※リハビリテーションを繋いでいくこと

■ 適切な緩和ケアの情報提供および支援

- ① 療養上の意思決定や問題解決、
アドバンス・ケア・プランニング(ACP)
- ② 臨床心理士、神経精神科との連携
- ③ 脳卒中・心臓病の緩和ケア病床分布の
把握、見直し
- ④ 在宅診療との連携

■ 地震、水害等発災時の脳卒中、心臓病等発症リスクを加味した注意喚起、ツール作成と平時からの備えの啓発

- ① 災害対策啓発資材の作成、配布
 - ② 救急部、代謝内科、腎臓内科、消防、
薬剤師会、保健所などとの連携
- ※厚労科研 研究事業と一緒に

■ 小児・若年期から成人期までの一貫した循環器病の診療支援

- ① 適切なリハビリテーションの提供
 - ② 患者会との連携強化
 - ③ 外来リハビリテーションは可能施設の把握
 - ④ 栄養指導・栄養療法(経鼻・胃瘻)
支援体制整備
 - ⑤ 在宅療養支援体制整備
 - ⑥ ブレイン・ハートチームの構築と情報共有
- ※今、リハビリテーションでの現場で、
どういう病院が何を行っているのか

■ 治療と仕事の両立支援、就労・就学支援

- ① 高次脳機能障害：熊本県高次脳機能
障害支援センターとの連携
 - ② 企業や学校へアプローチ
 - ③ 障害手帳、精神福祉手帳手続きの
支援体制整備
 - ④ リハビリとしての関わり
(CPX処方・施設のリストアップなど)
 - ⑤ 両立支援コーディネーターの育成をサポート
- ※「回復期からどれくらい就労しているか」
「疾患発症から就労までの期間」を把握

■ 疾患、治療、リハビリテーション、介護、心理サポート、就労支援、障がい、福祉サービスに関する適切な情報提供と相談支援

- ① 先天性・小児期発症の循環器疾患患者支援
 - ② 難病：熊本県難病・相談・支援センターとの連携
 - ③ ピアサポート（脳卒中サロン、循環器サロン）
 - ④ 啓発資材の作成、配布
 - ⑤ 経済的支援に関する資料作成
- ※脳卒中患者の相談で一番多いのが
リハビリテーションに関すること。
どのような内容の相談が多いのかをまとめる

専門部会

R5年度 各部会にメンバー・業務について

2024.3.1現在

部会名	部会長 (敬称略)	副部会長 委員 (黒)	所属施設	所属部署
診療部会 (診療・リハビリテーション部会)	辻田賢一 tsujita@kumamoto-u.ac.jp	和田邦泰 幸崎弥之助 佐藤幸治 松尾倫 日野洋健 上田 緋沙美 大嶋 俊範 金場 俊二 田中 生羽 細川 浩	熊本市民病院	脳神経内科 kuni6@bd6.so-net.ne.jp
			熊本医療センター	脳神経内科 kouzaki01@gmail.com
			熊本市民病院	循環器内科 satou-k@kumamoto-u.ac.jp
			熊本大学病院	循環器内科 matsuo.osamu@kuh.kumamoto-u.ac.jp
			江南病院	脳神経内科 pinotakepino@gmail.com
			熊本医療センター	看護師 hisami.ueda.0402@outlook.jp
			荒尾市立有明医療センター	脳神経内科 tony.aging@gmail.com
			江南病院	リハビリテーション izx00400@nifty.com
			熊本市民病院	患者サポートセン tanaka.ikuha@city.kumamoto.lg.jp
			武蔵ヶ丘病院	リハビリテーション h-hosokawa@tanakakai.com
地域連携部会	武笠晃丈 mukasa@kumamoto-u.ac.jp	野田勝生 寺崎修司 松澤泰志 賀未泰之 中神正巳 境野成次 丸岡徳裕(のりひろ)	熊本中央病院	循環器内科 k-noda@kumachu.kkr.or.jp
			熊本赤十字病院	脳神経内科 koheimayu@me.com
			熊本大学病院	循環器内科 matsuzawa-y@kumamoto-u.ac.jp
			熊本大学病院	脳神経外科 kakuyasuyuki@yahoo.co.jp
			西日本病院	泌尿器科 nakagami.masami@gmail.com
			鶴田病院	循環器内科 nsakaino.com@mac.com
			リハビリテーションセンター熊本回生会病院	心臓リハビリテーション maruoka@reha-kaiseikai.or.jp
			熊本託麻台リハビリテーション病院	脳神経外科 hiratay@horio-kai.or.jp
			熊本労災病院	循環器内科 akaradialist@yahoo.co.jp
			済生会熊本病院	脳神経内科 yandk@estate.ocn.ne.jp
両立・就労支援部会	辻田賢一	平田好文 松村敏幸 橋本洋一郎 山本正啓 原田栄作 箕田修治 小島 淳 梶谷 豊	熊本中央病院	循環器内科 yamamo-m@kumamoto-u.ac.jp
			熊本大学病院	循環器内科 eisaku-h@juryo.or.jp
			熊本リハビリテーション病院	脳神経内科 smita@kumareha.jp
			桜十字八代リハビリテーション病院	循環器内科 kojimas@kumamoto-u.ac.jp
			熊本労災病院	MSW y_kabatani@kumamotoh.johas.go.jp
			熊本大学病院	脳神経内科 nakazima04@gmail.com
			熊本地域医療センター	循環器内科 nobutaka@krmc.or.jp
			熊本大学病院	循環器内科 s-takash@kumamoto-u.ac.jp
			青磁野リハビリテーション病院	循環器内科 t-kanazawa@seijino.or.jp
			済生会みすみ病院	循環器内科 yasuaki-tanaka@saiseikaikumamoto.jp
相談支援部会	中島誠 nakazima04@gmail.com	橋本洋一郎 古山准二郎 山城重雄 岩崎智子 平田好文 金子篤志	済生会熊本病院	脳神経内科 yandk@estate.ocn.ne.jp
			済生会熊本病院	循環器内科 jyunjiro-koyama@saiseikaikumamoto.jp
			済生会熊本病院	脳神経外科 shigeo-yamashiro@saiseikaikumamoto.jp
			西日本病院	循環器内科 toxmo@nifty.com
			熊本託麻台リハビリテーション病院	脳神経外科 hiratay@horio-kai.or.jp
			天草中央総合病院	呼吸器内科 aceg8595@outlook.jp
			阿蘇医療センター	脳神経外科 ykai_1961@yahoo.co.jp
			阿蘇医療センター	循環器内科 fujisues@kumamoto-u.ac.jp
			宇城総合病院	脳神経内科 tmohrrh@reimeikai.jp
			阿蘇温泉病院	消化器内科 yokoyama@a.asospahp.jp
災害対策部会	辻田賢一	甲斐豊 藤末昂一郎 平原智雄 横山芳樹 田代桂一	阿蘇医療センター	脳神経内科 k.tashiro@yamaga-reha.jp
			阿蘇医療センター	循環器内科
			宇城総合病院	脳神経内科
			山鹿温泉リハビリテーション病院	脳神経内科

脳卒中・心臓病等総合支援センター 相談支援窓口設置医療機関

R5.08.28現在

資料4

急性期医療機関	回復期医療機関
1 荒尾市民病院	1 あきた病院
2 阿蘇医療センター	2 朝日野総合病院
3 国立病院機構熊本医療センター	3 阿蘇温泉病院
4 熊本大学病院	4 天草中央総合病院
5 熊本市民病院	5 有明成仁病院
6 熊本赤十字病院	6 宇城総合病院
7 済生会熊本病院	7 大阿蘇病院
8 杉村病院	8 帯山中央病院
9 天草地域医療センター	9 表参道吉田病院
10 熊本総合病院	10 菊池郡市医師会立病院
11 熊本労災病院	11 菊池中央病院
12 国保水俣市立総合医療センター	12 くまもと温石病院
13 人吉医療センター	13 熊本機能病院
14 くまもと県北病院	14 くまもと成城病院
15 熊本再春医療センター	15 くまもと南部広域病院
16 熊本中央病院	16 熊本南病院
17 上天草市立上天草総合病院	17 くまもと森都総合病院
18 熊本市立植木病院	18 熊本リハビリテーション病院
	19 江南病院
	20 桜十字八代リハビリテーション病院
	21 水前寺とうや病院
	22 聖ヶ塔病院
	23 青磁野リハビリテーション病院
	24 田上心臓病リハビリテーション病院
	25 鶴田病院
	26 寺尾病院
	27 西日本病院
	28 東熊本第二病院
	29 北部脳神経外科・神経内科
	30 北部病院
	31 御幸病院
	32 武蔵ヶ丘病院
	33 八代敬仁病院
	34 八代北部地域医療センター
	35 谷田病院
	36 山鹿温泉リハビリテーション病院
	37 山鹿市民医療センター
	38 山鹿中央病院
	39 山都町包括医療センターそよう病院
	40 リハビリテーションセンター熊本回生会病院



第一回 脳卒中サロン



@にしくまもと病院



熊本県 脳卒中・心臓病等総合支援センター(脳卒中)：医師のみ記載

	部会名	部会長	副部会長・委員(黒)	所属施設	所属部署
1	診療部会 (診療・リハビリテーション部会)	(辻田賢一)	和田邦泰 幸崎弥之助 日野洋健 大嶋俊範 金場俊二 細川 浩	熊本市民病院 熊本医療センター 江南病院 荒尾市立有明医療センター 江南病院 武蔵ヶ丘病院	脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科 リハビリテーション リハビリテーション
2	地域連携部会	武笠晃丈	寺崎修司 賀来泰之	熊本赤十字病院 熊本大学病院	脳神経内科 脳神経外科
3	両立・就労支援部会	(辻田賢一)	平田好文 橋本洋一郎 箕田修治	熊本託麻台リハビリテーション病院 済生会熊本病院 熊本リハビリテーション病院	脳神経外科 脳神経内科 脳神経内科
4	緩和ケア部会	(辻田賢一)	中島 誠 牧野敬史	熊本大学病院 熊本市民病院	脳神経内科 脳神経外科
5	相談支援部会	中島 誠	橋本洋一郎 山城重雄 平田好文	済生会熊本病院 済生会熊本病院 熊本託麻台リハビリテーション病院	脳神経内科 脳神経外科 脳神経外科
6	災害対策部会	(辻田賢一)	甲斐 豊 平原智雄 田代桂一	阿蘇医療センター 宇城総合病院 山鹿温泉リハビリテーション病院	脳神経外科 脳神経内科 リハビリテーション

結語 <今後のシナリオ>

1. 熊本脳卒中地域連携ネットワーク研究会(K-STREAM)の分科会を解体して、脳卒中・心臓病等総合支援センターの部会と同じ部会を創り、両者のメンバーがかなり重なっており、共同して活動を続ける。
2. なお総合支援センターがオーバーワークにならないように我々関連施設が多くの役割を担っていく。
3. そのような活動の中にSCPA-Japan熊本県支部のメンバーも部会のメンバーになって頂き、一緒に活動する。
4. 総合支援センターの活動であれば、総合支援センターから依頼状を発行していただける。
5. 結果として、しっかりした管理体制の中で活動できるようになる。